

2007年第3四半期[7月～9月]コンピュータウイルス届出状況

独立行政法人 情報処理推進機構(略称:IPA 理事長:藤原 武平太)は、2007年第3四半期[7月～9月]のコンピュータウイルス届出状況を集計しました。

1. 届出件数

2007年第3四半期(7月～9月)の届出件数は合計8,301件となりました。下記グラフ(図1)は、IPAが受け付けた四半期(3ヶ月)ごとの届出件数の推移を示したものです。

図1で示すように、届出件数は減少傾向となっています。大量にメールを送信するタイプの新種ウイルスの出現もほとんどなく、また、そのようなウイルスが蔓延する状況も無くなってきているため、届出件数が減少していると推測されます。

ただし、特定の組織・個人を対象とした攻撃(標的型攻撃)などの場合、セキュリティ対策ソフトで検出できないケースがあります。不審なメールやファイルは開かない等、日頃からの心構えが重要です。

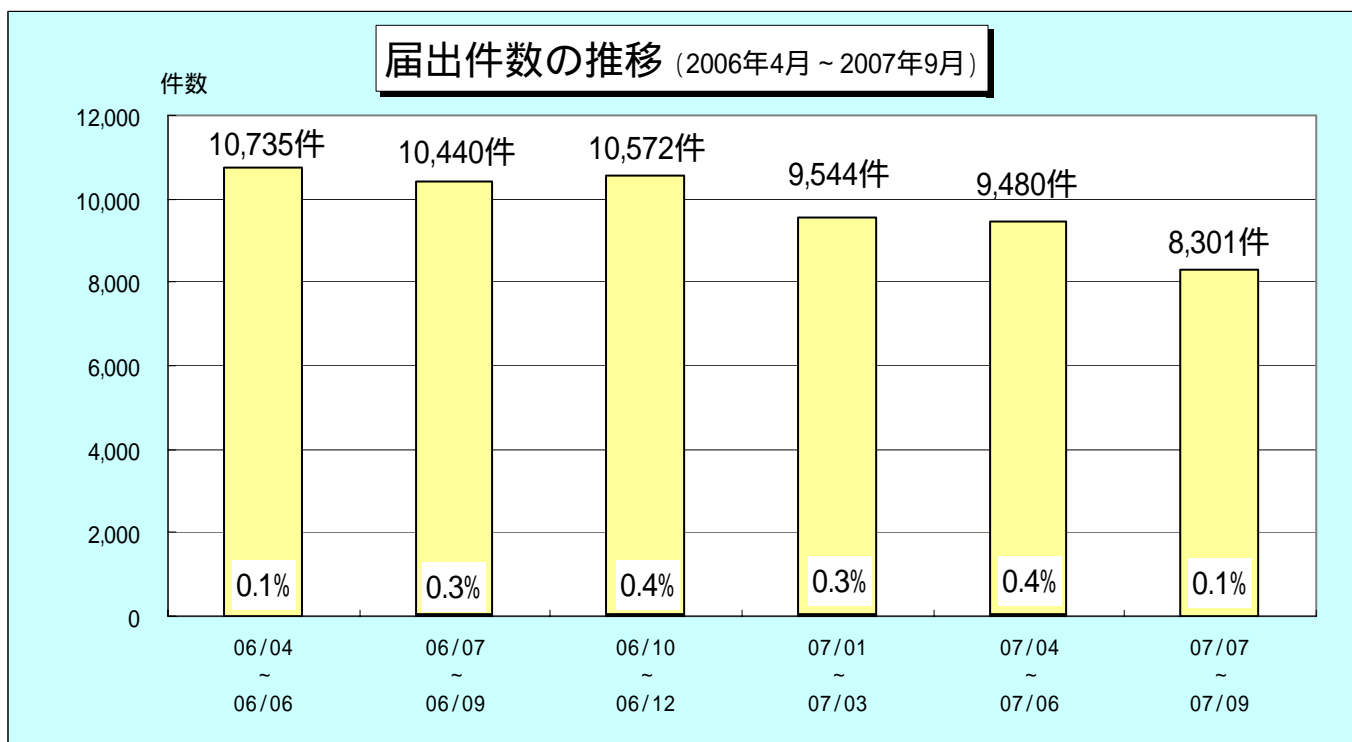


図1：届出件数の推移

図中の%表示は感染被害に遭った割合。

2. ウイルス検出数

最も多数の報告が寄せられている W32/Netsky も、検出数が大幅に減少しております。大量メール送信型のウイルスへの対策が浸透している状況が推測され、検出数は大幅に減少する傾向となっています。

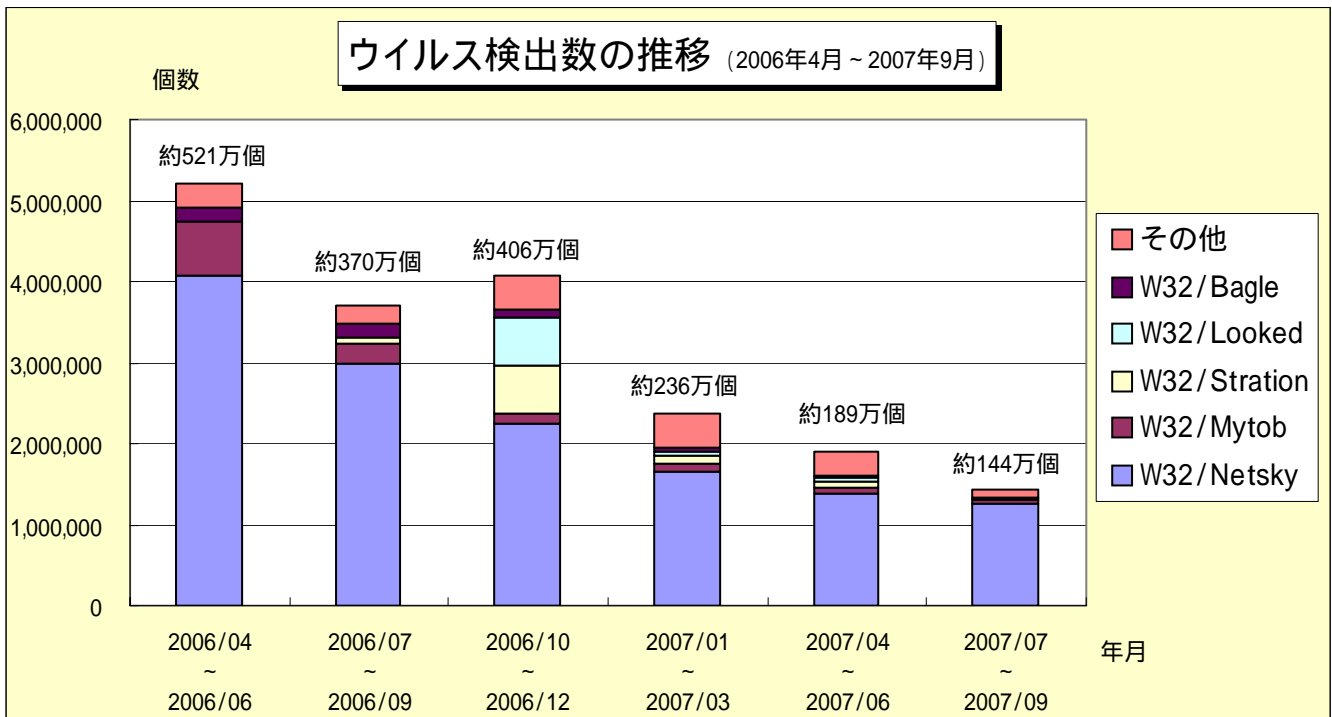


図 2：ウイルス検出数の推移

3. ウィルス別届出件数

届出が多数寄せられている W32/Netsky も減少傾向となっています。しかし、W32/Stration のように、届出件数が急激に増加するウイルスもあります。このようなウイルスが出現しても被害に遭わないよう、**修正プログラムの適用、ワクチンソフトの利用、添付ファイルの取り扱い**に注意するなどの基本的なウイルス対策を日頃から実施しておくことが肝要です。

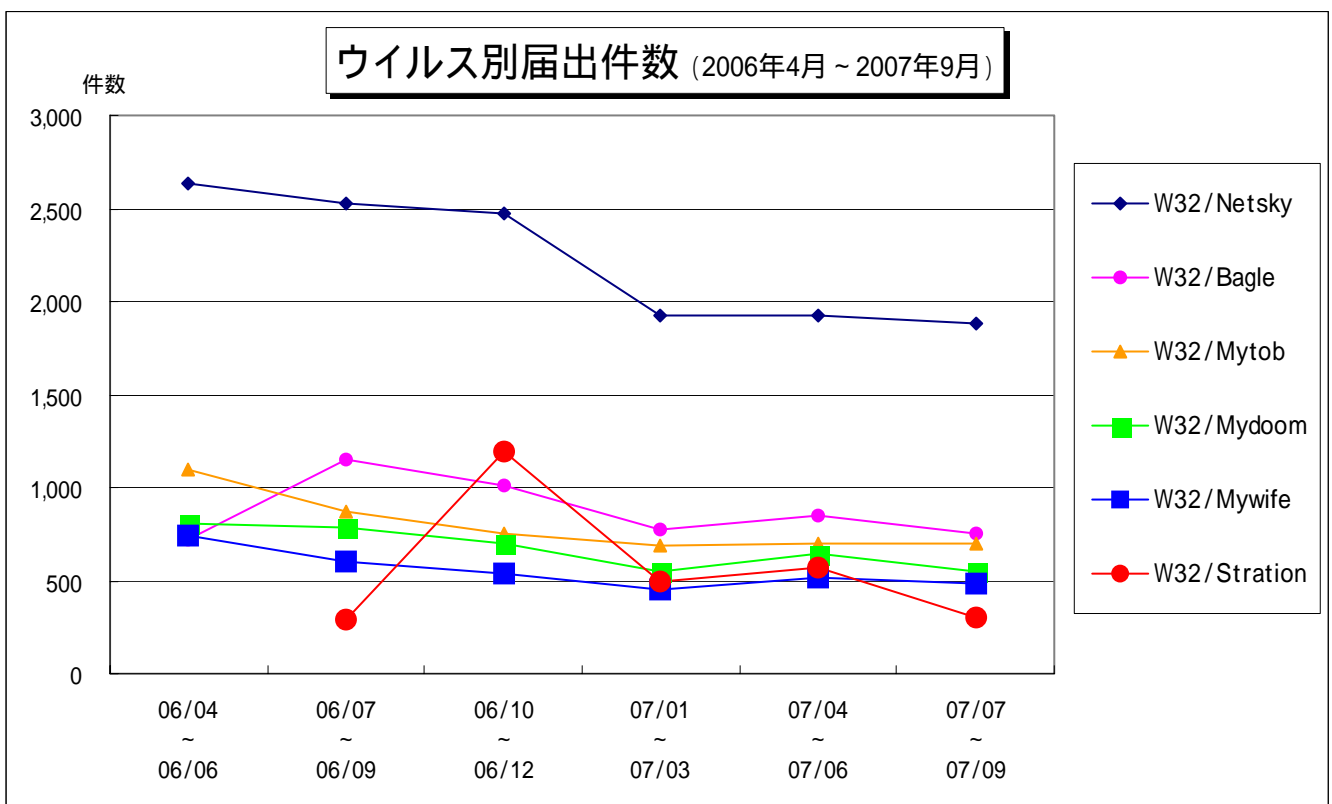


図 3：ウイルス別届出件数の推移

お問い合わせ先
 独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター
 花村 / 加賀谷 / 宮本
 Tel: 03-5978-7527 Fax: 03-5978-7518 E-mail: isec-info@ipa.go.jp